

日医発第 913 号 (法安 141)

平成 29 年 12 月 19 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会  
会長 横倉 義武



「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 28 年年報」の周知について

今般、公益財団法人日本医療機能評価機構が平成 21 年 4 月より実施している、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 28 年年報が公表された旨、厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長並びに医薬安全対策課長より本会宛連絡がありました。

本報告書と同様の事例の再発防止のために、貴会管下会員へのご周知方よろしくお願い致します。

なお、本報告書は下記の同機構ホームページからダウンロードしご覧いただけますようお願い申し上げます。

記

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の URL  
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

以上





薬生総発 1130 第 4 号  
薬生安発 1130 第 3 号  
平成 29 年 11 月 30 日

公益社団法人 日本医師会長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長  
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長  
(公 印 省 略)

「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 28 年年報」の周知について

医薬行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業は、公益財団法人日本医療機能評価機構による厚生労働省補助事業であり、平成 21 年 4 月より、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例等を収集、分析し提供しています。この事業は、医療安全対策に有用な情報について、薬局間で広く共有するとともに、国民に対して情報を提供し、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施されています。

この度、同機構より、平成 28 年 1 月から 12 月までに報告されたヒヤリ・ハット事例を収集し分析を行った「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 28 年年報」が公表されました。この年報は、同機構から各都道府県、各保健所設置市及び各特別区の長宛に送付されており、同機構のホームページにも掲載されています (<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止のために内容を確認の上、関係者に対して周知方お願いいたします。

## Ⅱ 報告の現況

## 【1】 事業参加薬局

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の事業参加薬局は次の通りである。

### 1. 事業参加薬局数

事業参加薬局数	8,700
---------	-------

※ 2016年12月31日現在の薬局数を示す。

### 2. 事業参加薬局数の推移

	2016年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新規事業参加薬局数	8	18	27	31	25	64	35	8	22	20	21	17
登録取下げ薬局数	3	4	0	4	134	2	2	1	2	3	9	9
累 計	8,582	8,596	8,623	8,650	8,541	8,603	8,636	8,643	8,663	8,680	8,692	8,700

※ 登録取下げの理由は、薬局廃止、薬局名称・開設者・所在地変更などである。

### 3. 都道府県別事業参加薬局数

都道府県	薬局数	都道府県	薬局数	都道府県	薬局数	都道府県	薬局数
北海道	568	東京都	759	滋賀県	68	香川県	103
青森県	140	神奈川県	730	京都府	128	愛媛県	94
岩手県	74	新潟県	217	大阪府	461	高知県	98
宮城県	311	富山県	47	兵庫県	301	福岡県	486
秋田県	100	石川県	51	奈良県	75	佐賀県	147
山形県	65	福井県	19	和歌山県	36	長崎県	124
福島県	162	山梨県	85	鳥取県	26	熊本県	192
茨城県	149	長野県	102	島根県	55	大分県	70
栃木県	240	岐阜県	136	岡山県	123	宮崎県	109
群馬県	164	静岡県	177	広島県	146	鹿児島県	111
埼玉県	183	愛知県	202	山口県	588	沖縄県	47
千葉県	162	三重県	198	徳島県	71	合 計	8,700

## 【2】 報告件数

薬局におけるヒヤリ・ハット事例<sup>(注1)</sup>は以下の通りである。

### 1. 報告件数

報 告 月	2016年	
	1月～12月	
事業参加薬局数 <sup>(注2)</sup>	8,873	
事業参加薬局のうち報告のあった薬局数	614	
報 告 件 数	4,939	

### 2. 月別報告件数

	2016年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事業参加薬局数 <sup>(注3)</sup>	8,582	8,596	8,623	8,650	8,541	8,603	8,636	8,643	8,663	8,680	8,692	8,700
報 告 件 数	422	414	302	346	436	495	407	433	390	363	523	408

### 3. 薬剤師数別事業参加薬局数及び報告件数

薬剤師数 (常勤換算)	事業参加薬局数		報告件数	
	2016年1月～12月		2016年1月～12月	
1人	1,749		442	
2人	3,170		1,088	
3人	1,815		891	
4人	929		1,022	
5人	501		568	
6人	273		183	
7人	150		404	
8人	89		26	
9人	47		43	
10人	46		54	
11人以上	104		218	
合 計	8,873		4,939	

(注1) 薬局ヒヤリ・ハット事例として報告される情報は、「医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例」「誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例、または軽微な処置・治療を要した事例（軽微な処置・治療とは、消毒・湿布・鎮痛剤投与等とする）」「誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例」である。但し、本事業において「医療」とは医療行為と関連する全ての過程とする。このうち、本事業において収集対象とする事例は、医薬品または特定保険医療材料が関連した事例であって、薬局で発生した、または発見された事例とする。

(注2) 2016年1月～12月に事業に参加していた薬局数を示す。

(注3) 各月末の薬局数を示す。

## 4. 処方せんを応需した回数別事業参加薬局数及び報告件数

処方せんを応需した回数 (月間)	事業参加薬局数		報告件数	
	2016年1月～12月		2016年1月～12月	
0～500回	1,189		101	
501～1000回	2,421		951	
1001～1500回	2,092		1,155	
1501～2000回	1,426		1,133	
2001～2500回	699		546	
2501～3000回	426		228	
3001～3500回	205		298	
3501～4000回	176		230	
4001回以上	239		297	
合計	8,873		4,939	

## 5. 医療用医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

医療用医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数		報告件数	
	2016年1月～12月		2016年1月～12月	
0品目	4		0	
1～100品目	27		0	
101～500品目	644		114	
501～1000品目	3,987		1,323	
1001～1500品目	2,905		2,032	
1501～2000品目	1,001		1,134	
2001～2500品目	215		285	
2501～3000品目	63		42	
3001品目以上	27		9	
合計	8,873		4,939	

## 6. 後発医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

後発医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数	報告件数
	2016年1月～12月	2016年1月～12月
0品目	7	0
1～100品目	1,813	189
101～500品目	6,245	4,470
501～1000品目	781	269
1001～1500品目	16	10
1501～2000品目	3	0
2001～2500品目	2	0
2501～3000品目	0	0
3001品目以上	6	1
合計	8,873	4,939

## 7. 一般用医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

一般用医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数	報告件数
	2016年1月～12月	2016年1月～12月
0品目	858	162
1～10品目	1,770	1,122
11～50品目	2,870	2,200
51～100品目	1,128	674
101～150品目	420	265
151～200品目	320	197
201～250品目	148	87
251～300品目	262	34
301～500品目	482	110
501～1000品目	436	72
1001品目以上	179	16
合計	8,873	4,939

## 8. 処方せんを応需している医療機関数別事業参加薬局数及び報告件数

処方せんを応需している 医療機関数	事業参加薬局数		報告件数	
	2016年1月～12月		2016年1月～12月	
0	16		0	
1～10	1,735		464	
11～20	1,785		635	
21～30	1,428		751	
31～40	908		345	
41～50	850		862	
51～60	462		423	
61～70	369		181	
71～80	268		376	
81～90	185		186	
91～100	230		201	
101以上	637		515	
合計	8,873		4,939	

## 9. 後発医薬品調剤率別事業参加薬局数及び報告件数

後発医薬品調剤率	事業参加薬局数		報告件数	
	2016年1月～12月		2016年1月～12月	
10%未満	183		3	
10%以上20%未満	1,009		81	
20%以上30%未満	1,567		259	
30%以上40%未満	1,690		267	
40%以上50%未満	911		361	
50%以上60%未満	700		418	
60%以上70%未満	1,107		1,527	
70%以上80%未満	1,238		1,423	
80%以上90%未満	444		594	
90%以上	24		6	
合計	8,873		4,939	



## 10. 地域別事業参加薬局数及び報告件数

地域	事業参加薬局数	報告件数
	2016年1月～12月	2016年1月～12月
北海道	577	261
東北	872	322
関東甲信越	2,848	1,822
東海北陸	845	312
近畿	1,094	726
中国四国	1,328	594
九州沖縄	1,309	902
合計	8,873	4,939

## 11. 報告件数別事業参加薬局数

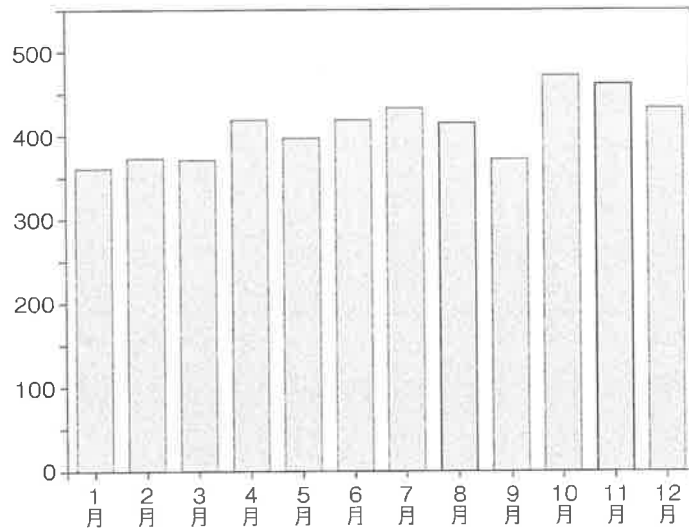
報告件数	事業参加薬局数
	2016年1月～12月
0	8,259
1～5	410
6～10	87
11～20	71
21～30	13
31～40	12
41～50	8
51以上	13
合計	8,873

### 【3】 報告内容

2016年に報告された薬局におけるヒヤリ・ハット事例4,939件について、各項目の集計を行った結果は以下の通りである。割合については小数点第2位を四捨五入したものであり、合計が100.0にならないことがある。

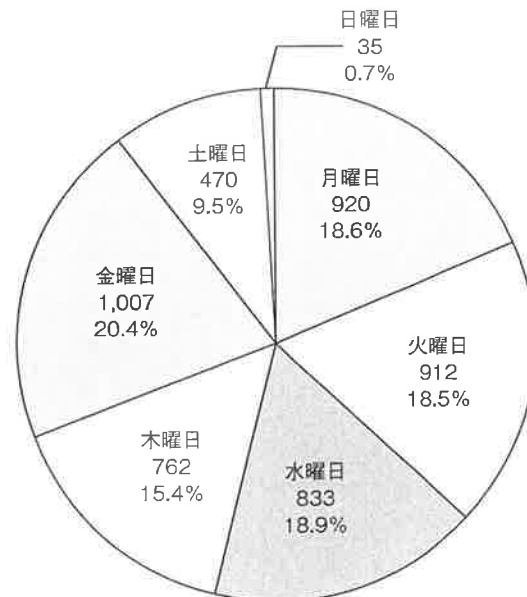
#### 1. 発生月

発生月	件数
1月	362
2月	374
3月	372
4月	420
5月	398
6月	420
7月	434
8月	416
9月	373
10月	473
11月	463
12月	434
合計	4,939



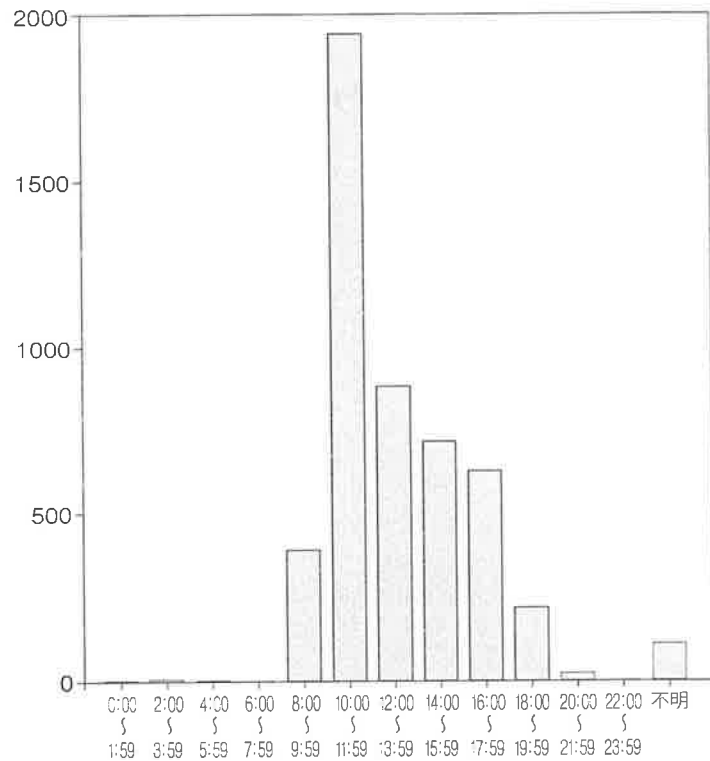
#### 2. 発生曜日

発生曜日	件数
日曜日	35
月曜日	920
火曜日	912
水曜日	833
木曜日	762
金曜日	1,007
土曜日	470
合計	4,939



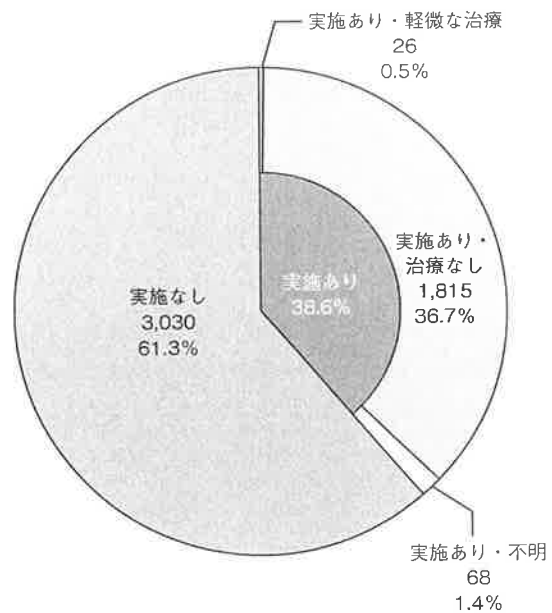
### 3. 発生時間帯

発生時間帯	件数
0:00 ~ 1:59	2
2:00 ~ 3:59	4
4:00 ~ 5:59	0
6:00 ~ 7:59	3
8:00 ~ 9:59	394
10:00 ~ 11:59	1,946
12:00 ~ 13:59	886
14:00 ~ 15:59	720
16:00 ~ 17:59	631
18:00 ~ 19:59	220
20:00 ~ 21:59	22
22:00 ~ 23:59	1
不明	110
合計	4,939



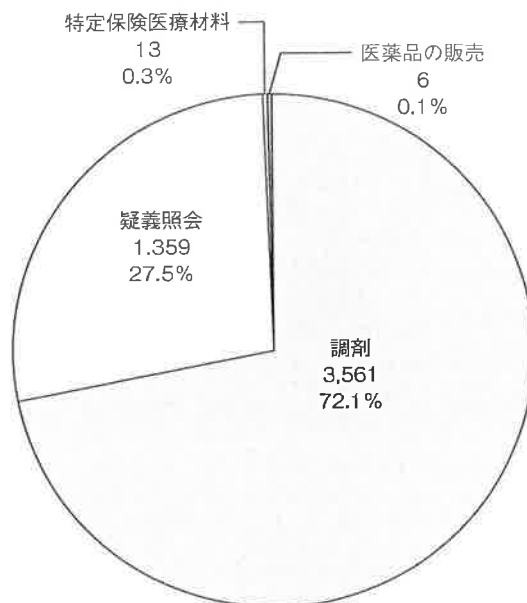
### 4. 実施の有無・治療の程度

実施の有無 治療の程度	件数
実施あり・軽微な治療	26
実施あり・治療なし	1,815
実施あり・不明	68
実施なし	3,030
合計	4,939



### 5. 事例の概要

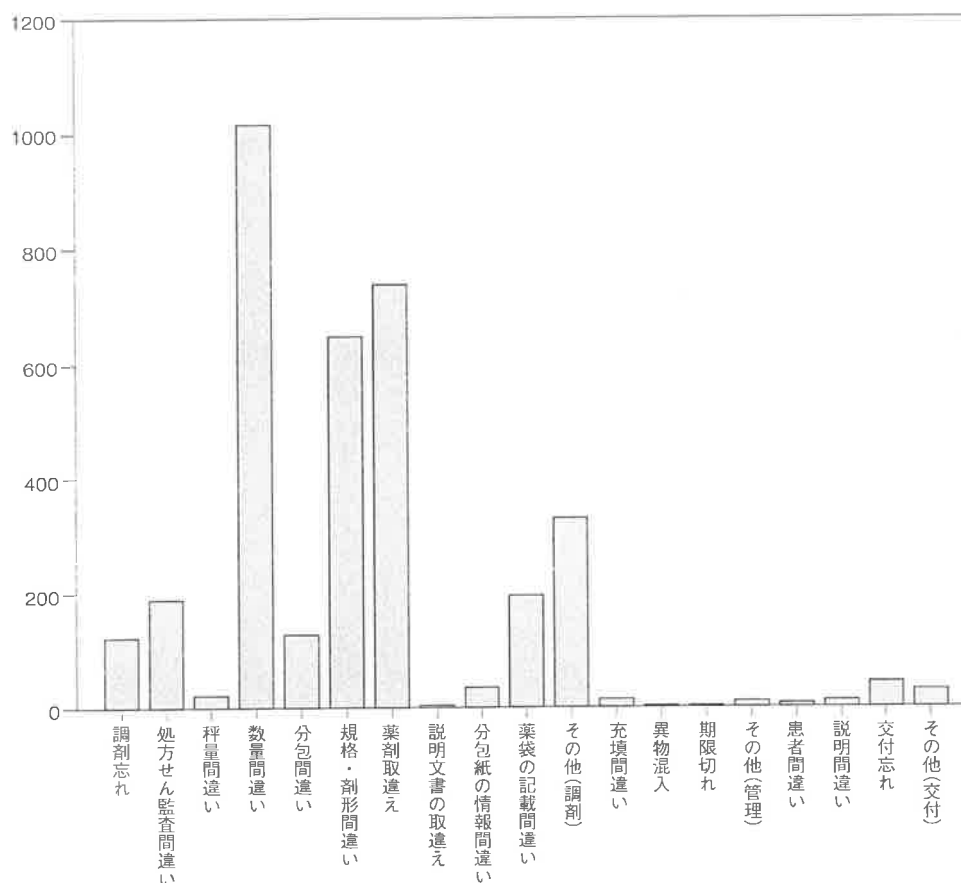
事例の概要 <sup>(注1)</sup>	件数
調剤 <sup>(注3)</sup>	3,561
疑義照会 <sup>(注2) (注3)</sup>	1,359
特定保険医療材料	13
医薬品の販売	6
合計	4,939



(注1) 薬局ヒヤリ・ハット事例とは、薬局で発生した、または発見された事例である。58頁(注1)参照。  
 (注2) 「疑義照会」は、医療機関で発生した処方誤りを薬局で発見した事例が大半を占めている。  
 (注3) 調剤の過程において疑義照会を行わなかったが、その後疑義が生じた事例は、「調剤」に集計している。

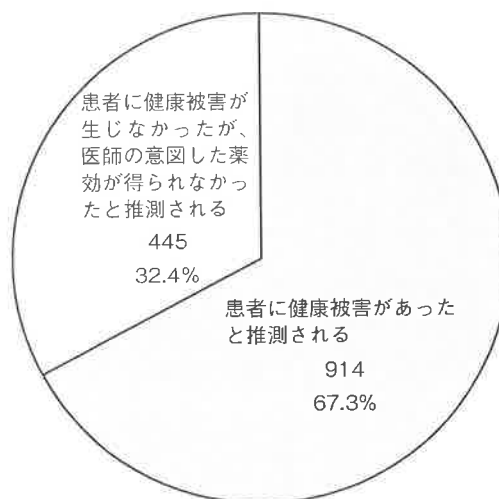
1) 調剤に関する項目

発生場面	事例の内容	件数	発生場面	事例の内容	件数
調 剤	調 剤 忘 れ	123	管 理	充 填 間 違 い	14
	処方せん監査間違い	190		異 物 混 入	3
	秤 量 間 違 い	22		期 限 切 れ	3
	数 量 間 違 い	1,019		そ の 他 ( 管 理 )	10
	分 包 間 違 い	128	交 付	患 者 間 違 い	7
	規格・剤形間違い	649		説 明 間 違 い	12
	薬 剤 取 違 え	740		交 付 忘 れ	44
	説明文書の取違え	4		そ の 他 ( 交 付 )	31
	分包紙の情報間違い	35	合 計		3,561
	薬袋の記載間違い	196			
	そ の 他 ( 調 剤 )	331			

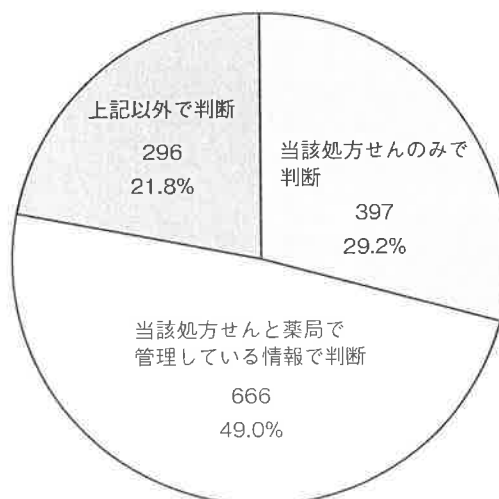


2) 疑義照会に関する項目

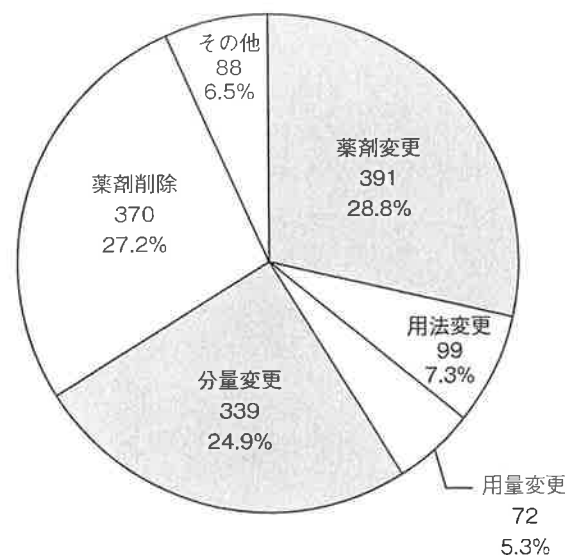
仮に変更前の処方通りに服用した場合の影響	件数
患者に健康被害があったと推測される	914
患者に健康被害が生じなかったが、医師の意図した薬効が得られなかったと推測される	445
合計	1,359



疑義があると判断した理由	件数
当該処方せんのみで判断	397
当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	666
上記以外で判断	296
合計	1,359

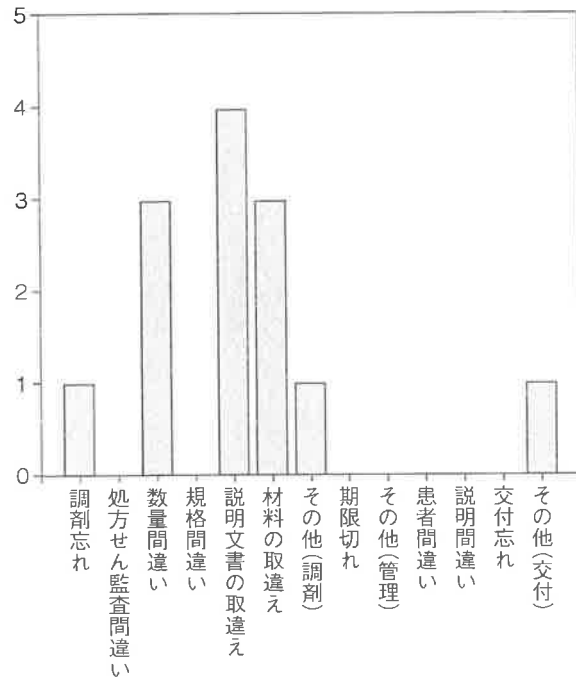


変更内容	件数
薬剤変更	391
用法変更	99
用量変更	72
分量変更	339
薬剤削除	370
その他	88
合計	1,359



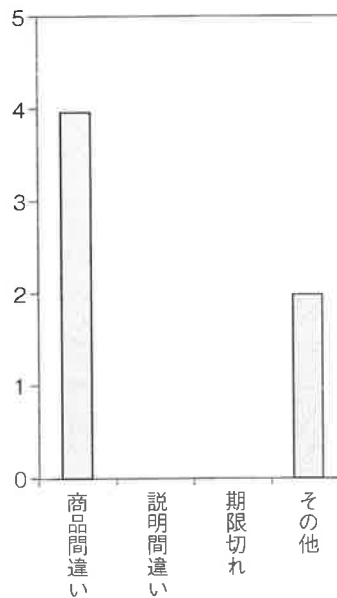
3) 特定保険医療材料に関する項目

発生場面	事例の内容	件数
調 剤	調 剤 忘 れ	1
	処方せん監査間違い	0
	数 量 間 違 い	3
	規 格 間 違 い	0
	説明文書の取違い	4
	材 料 の 取 違 え	3
	そ の 他 ( 調 剤 )	1
管 理	期 限 切 れ	0
	そ の 他 ( 管 理 )	0
交 付	患 者 間 違 い	0
	説 明 間 違 い	0
	交 付 忘 れ	0
	そ の 他 ( 交 付 )	1
合 計		13



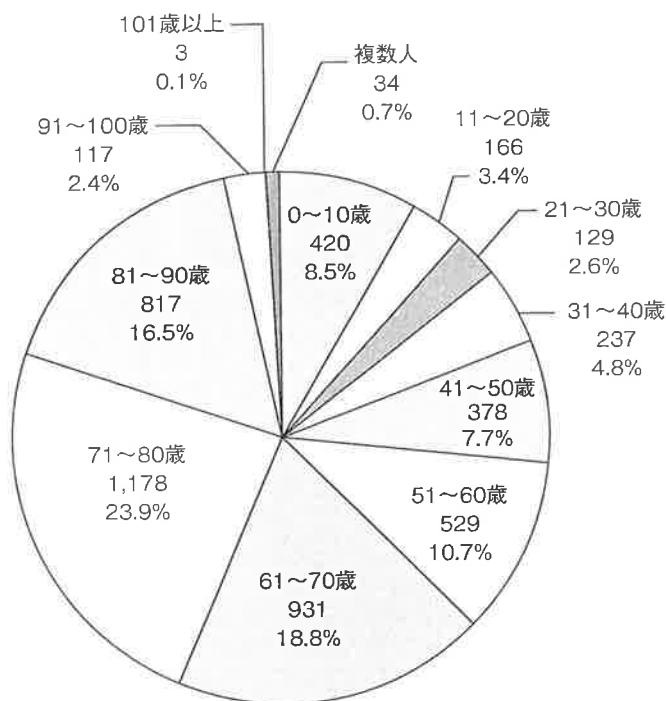
4) 医薬品の販売に関する項目

事例の内容	件数
商品間違い	4
説明間違い	0
期限切れ	0
そ の 他	2
合 計	6



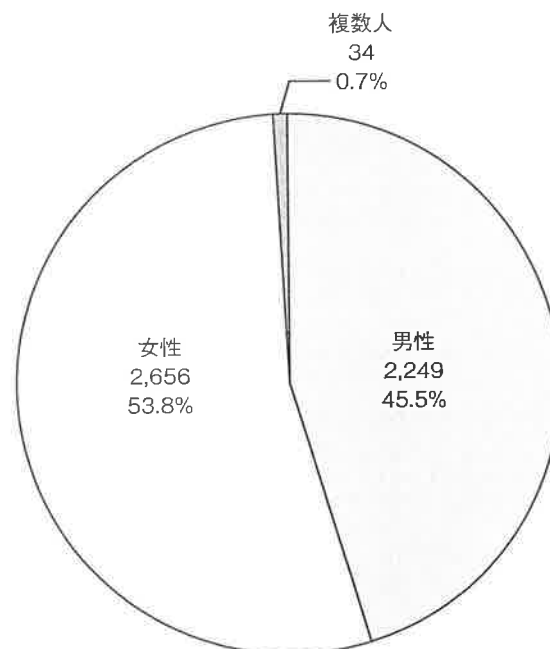
### 6. 患者の年齢

患者の年齢	件数
0～10歳	420
11～20歳	166
21～30歳	129
31～40歳	237
41～50歳	378
51～60歳	529
61～70歳	931
71～80歳	1,178
81～90歳	817
91～100歳	117
101歳以上	3
複数人	34
合計	4,939



### 7. 患者の性別

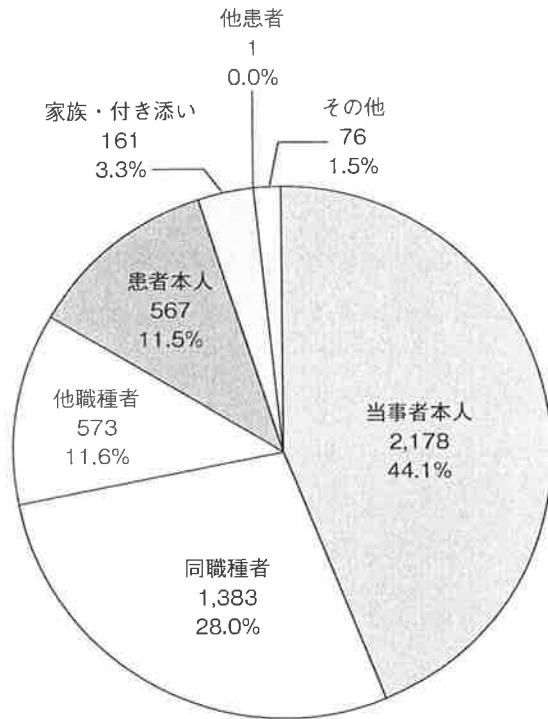
患者の性別	件数
男性	2,249
女性	2,656
複数人	34
合計	4,939





### 8. 発見者

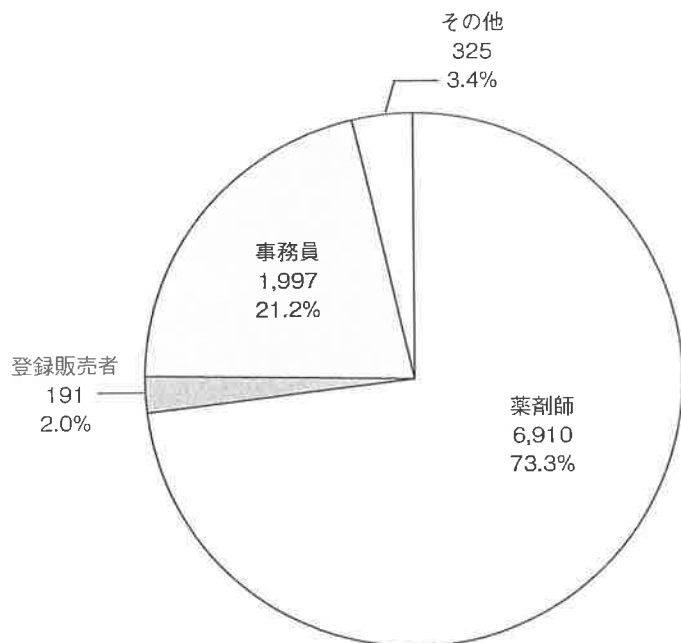
発見者	件数
当事者本人	2,178
同職種者	1,383
他職種者	573
患者本人	567
家族・付き添い	161
他患者	1
その他	76
合計	4,939



### 9. 当事者

当事者	件数
薬剤師	6,910
登録販売者	191
事務員	1,997
その他	325
合計	9,423

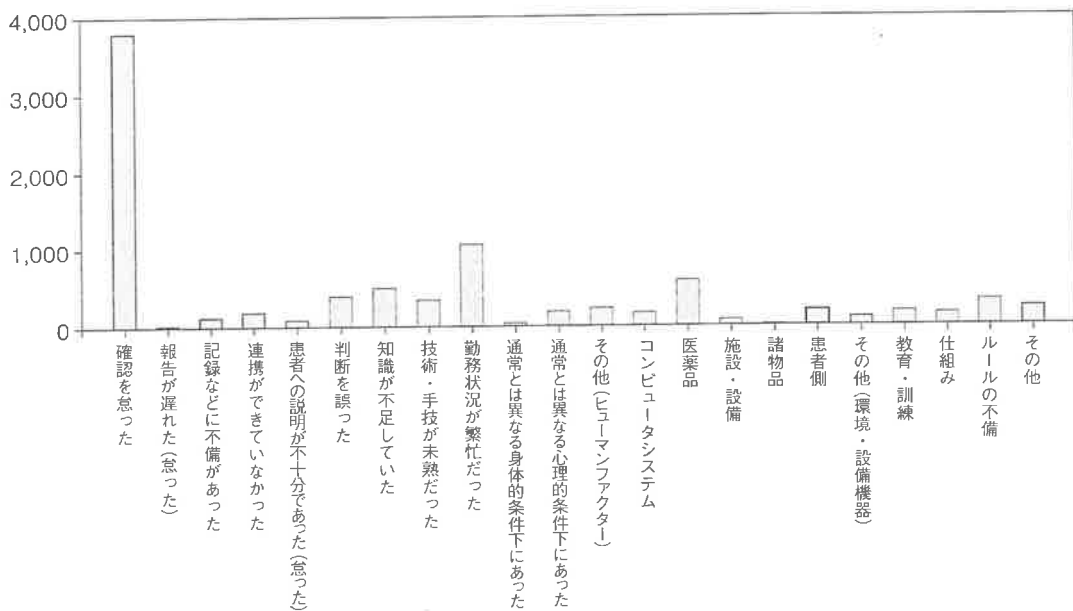
※「当事者」は複数回答が可能である。



10. 発生要因

項目		件数		
当事者の行動に関わる要因	確認を怠った	3,796		
	報告が遅れた(怠った)	20		
	記録などに不備があった	121		
	連携ができていなかった	186		
	患者への説明が不十分であった(怠った)	84		
	判断を誤った	387		
背景・システム・環境要因	ヒューマンファクター	知識が不足していた	494	
		技術・手技が未熟だった	339	
		勤務状況が繁忙だった	1,055	
		通常とは異なる身体的条件下にあった	37	
		通常とは異なる心理的条件下にあった	187	
		その他(ヒューマンファクター)	226	
	環境・設備機器	コンピュータシステム	200	
		医薬品	580	
		施設・設備	80	
		諸物品	6	
		患者側	193	
		その他(環境・設備機器)	102	
	その他	教育・訓練	177	
		仕組み	149	
		ルールの不備	320	
		その他	234	
		合 計		8,973

※「発生要因」は複数回答が可能である。



## 1 1. 発生要因×事例の概要

発生要因	事例の概要				合計
	調剤	(注) 疑義照会	特定保険 医療材料	医薬品の 販売	
確認を怠った	3,197	582	13	4	3,796
報告が遅れた(怠った)	14	6	0	0	20
記録などに不備があった	54	66	1	0	121
連携ができていなかった	80	104	0	2	186
患者への説明が不十分であった(怠った)	63	21	0	0	84
判断を誤った	350	37	0	0	387
知識が不足していた	325	166	3	0	494
技術・手技が未熟だった	310	28	1	0	339
勤務状況が繁忙だった	964	85	4	2	1,055
通常とは異なる身体的条件下にあった	36	1	0	0	37
通常とは異なる心理的条件下にあった	178	9	0	0	187
その他(ヒューマンファクター)	148	77	0	1	226
コンピュータシステム	119	79	2	0	200
医薬品	494	85	0	1	580
施設・設備	71	9	0	0	80
諸物品	4	1	1	0	6
患者側	35	158	0	0	193
その他(環境・設備機器)	44	57	1	0	102
教育・訓練	118	56	3	0	177
仕組み	92	56	1	0	149
ルールの不備	298	19	2	1	320
その他	22	211	0	1	234
合計	7,016	1,913	32	12	8,973

※「発生要因」は複数回答が可能である。

(注) 「疑義照会」は、医療機関で発生した処方士の誤りを薬局で発見した事例が大半を占めている。そのため、「発生要因」は、処方士の誤りが発生した医療機関における発生要因の内容が選択されている事例が大半である。

## 12. 発生要因×当事者

発生要因	当事者				合 計
	薬 劑 師	登録販売者	事 務 員	そ の 他	
確認を怠った	5,250	110	1,592	278	7,230
報告が遅れた（怠った）	43	3	7	1	54
記録などに不備があった	180	6	40	31	257
連携ができていなかった	282	5	78	15	380
患者への説明が不十分であった（怠った）	137	4	61	11	213
判断を誤った	631	7	101	24	763
知識が不足していた	737	16	205	78	1,036
技術・手技が未熟だった	489	25	136	15	665
勤務状況が繁忙だった	1,715	40	403	39	2,197
通常とは異なる身体的条件下にあった	59	0	19	3	81
通常とは異なる心理的条件下にあった	306	12	97	9	424
その他（ヒューマンファクター）	331	2	80	13	426
コンピュータシステム	284	13	111	22	430
医薬品	916	29	170	43	1,158
施設・設備	137	5	35	2	179
諸物品	8	0	0	0	8
患者側	293	48	147	7	495
その他（環境・設備機器）	163	16	59	9	247
教育・訓練	275	6	103	26	410
仕組み	215	8	40	16	279
ルールの不備	435	29	114	13	591
その他	311	3	70	7	391
合 計	13,197	387	3,668	662	17,914

※「発生要因」、「当事者」は複数回答が可能である。

13. 事例の概要×実施の有無・治療の程度

事例の概要	実施の有無・治療の程度				合計
	実施あり			実施なし	
	軽微な治療	治療なし	不明		
調剤	26	1,803	68	1,664	3,561
疑義照会	0	0	0	1,359	1,359
特定保険医療材料	0	7	0	6	13
医薬品の販売	0	5	0	1	6
合 計	26	1,815	68	3,030	4,939

14. 発生時間帯×発生曜日

発生時間帯	発生曜日							合計
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
0:00～1:59	0	1	0	0	0	0	1	2
2:00～3:59	0	1	1	1	0	1	0	4
4:00～5:59	0	0	0	0	0	0	0	0
6:00～7:59	0	0	2	0	0	1	0	3
8:00～9:59	1	76	83	63	61	61	49	394
10:00～11:59	15	343	344	291	300	404	249	1,946
12:00～13:59	7	164	137	158	158	159	103	886
14:00～15:59	7	126	130	144	104	175	34	720
16:00～17:59	2	132	140	114	86	132	25	631
18:00～19:59	1	48	46	41	32	50	2	220
20:00～21:59	1	6	8	1	3	2	1	22
22:00～23:59	0	0	1	0	0	0	0	1
不 明	1	23	20	20	18	22	6	110
合 計	35	920	912	833	762	1,007	470	4,939

## 【4】 販売名に関する集計

### 1. 「調剤」「疑義照会」における医療用医薬品（報告回数7,041回）<sup>（注1）</sup>

（報告回数上位）

販売名	報告回数
カロナール錠200	59
PL配合顆粒	35
セレコックス錠100mg	33
ムコスタ錠100mg	32
ワーファリン錠1mg	29
ネキシウムカプセル20mg	27
ロキソニン錠60mg	27
プレドニン錠5mg	25
ロキソニンテープ100mg	25
ツムラ葛根湯エキス顆粒（医療用）	24

#### 1) 医療用医薬品（事例の概要別）

##### （1）調剤

- 処方された医薬品 （報告回数1,426回）<sup>（注2）</sup>
- 間違えた医薬品 （報告回数1,426回）<sup>（注2）</sup>
- 関連医薬品 （報告回数2,157回）

（報告回数上位）

販売名	報告回数			合計
	処方された医薬品	間違えた医薬品	関連医薬品	
カロナール錠200	7	4	12	23
クレストール錠2.5mg	4	4	13	21
ロキソニンテープ100mg	4	10	7	21
ミカルディス錠40mg	2	6	10	18
モーラステープL40mg	5	3	10	18

（注1）「医療用医薬品」の報告回数は、事例の概要の「調剤」「疑義照会」において、「処方された医薬品」「間違えた医薬品」「関連医薬品」「変更になった医薬品」に報告された医療用医薬品ごとの報告回数を示す。

（注2）「調剤」において、「処方された医薬品」と「間違えた医薬品」の報告回数は、それぞれの項目に入力された医薬品数を計上しているため、必ずしも一致しない。

(2) 疑義照会

- 処方された医薬品 (報告回数1,517回) (注1)
- 変更になった医薬品 (報告回数 515回) (注1)

(報告回数上位)

販 売 名	報告回数		合計
	処方された医薬品	変更になった医薬品	
カロナール錠200	16	20	36
セレコックス錠100mg	23	3	26
PL配合顆粒	24	0	24
フスコデ配合錠	18	0	18
セルベックスカプセル50mg	15	1	16
ムコスタ錠100mg	14	2	16

2) 後発医薬品 (報告回数2,513回) (注2)

(報告回数上位)

販 売 名	報告回数
カロナール錠200	59
メチコバル錠500μg	23
セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「サワイ」	21
カロナール錠300	19
レバミピド錠100mg「EMEC」	19
カルボシステイン錠250mg「サワイ」	17
カルボシステイン錠500mg「トーワ」	17
バイアスピリン錠100mg	17
マグミット錠330mg	16
テプレノンカプセル50mg「トーワ」	15

(注1) 「疑義照会」において、「処方された医薬品」と「変更になった医薬品」の報告回数は、選択項目のうち「用法変更」「用量変更」「分量変更」「薬剤削除」を選択した場合「処方された医薬品」のみ報告するため、必ずしも一致しない。  
 (注2) 「後発医薬品」の報告回数は、「医療用医薬品」のうち「後発医薬品」に該当する報告回数を示す。

3) 新規収載医薬品<sup>(注1)</sup> (報告回数35回)<sup>(注2)</sup>

販 売 名	報告回数
ロコアテープ	10
エクメット配合錠HD	9
エクメット配合錠LD	3
ヴィキラックス配合錠	2
デュアック配合ゲル	2
ハーボニー配合錠	2
フィコンパ錠2mg	2
ライゾデグ配合注フレックスタッチ	2
ランタスXR注ソロスター	2
ソバルディ錠400mg	1

(注1) 当事業における「新規収載医薬品」とは、事例発生月において薬価収載1年未満の新医薬品とする。

(注2) 「新規収載医薬品」の報告回数は、「医療用医薬品」のうち「新規収載医薬品」に該当する報告回数を示す。



2. 特定保険医療材料（報告回数19回）<sup>（注1）</sup>

- 処方された特定保険医療材料（報告回数7回）
- 間違えた特定保険医療材料（報告回数7回）
- 関連する特定保険医療材料（報告回数5回）

販 売 名 <sup>（注2）</sup>	報告回数			合計
	処方された 特定保険医療材料	間違えた 特定保険医療材料	関連する 特定保険医療材料	
BD マイクロファイナプラス	3	2	2	7
ペンニードル	3	2	1	6
ナノパスニードル	0	2	2	4
コアレスニードル	1	1	0	2

3. 「医薬品の販売」における医薬品（報告回数9回）<sup>（注3）</sup>

販 売 名	報告回数
ガスター10	1
感冒剤13号A	1
その他（小分け販売）	7

「医薬品の販売」として、薬局間で医療用医薬品を販売した事例が7件報告されたことから、これらの販売名を表中に個別に示すのではなく、当該事例の販売名を「その他（小分け販売）」と整理するとともに件数を表記した。

医薬品の分類	報告回数
医療用医薬品	7
第一類医薬品	1
指定第二类医薬品	0
第二类医薬品	0
第三類医薬品	0
要指導医薬品	0
その他	1

（注1）「特定保険医療材料」の報告回数は、「処方された特定保険医療材料」「間違えた特定保険医療材料」「関連する特定保険医療材料」に報告された特定保険医療材料ごとの報告回数を示す。

（注2）販売名はブランド名ごとに集計している。

（注3）「医薬品の販売」の報告回数は、「関連医薬品」に報告された医薬品ごとの報告回数を示す。